



# かわら版



|                            |    |
|----------------------------|----|
| ○ 鼓動 石川県公共図書館協議会事務局        | 1  |
| 「すべての県民に図書館サービスを」          |    |
| ○ 令和4年度少年の主張石川県大会          | 2  |
| ○ 健民運動活動紹介                 | 7  |
| ○ 第49回太陽と緑に親しむ健民祭          | 8  |
| ○ 11月・12月の健民運動カレンダー        | 14 |
| ○ 薫風 石川県スポーツ少年団 副本部長 川村 正美 | 15 |
| 子どもたちの成長を願って               |    |
| ○ 「あいむ」だより                 | 16 |

# 鼓動

石川県公共図書館協議会事務局

## 「すべての県民に図書館サービスを」

石川県公共図書館協議会は、県内公共図書館相互の連絡を緊密にし、図書館活動を活発にすることを目的として、昭和40年に設立され、県立図書館と県内19市町立図書館などで構成されています。

主な活動としては、司書の研修会の開催、情報収集・交換、功労者・永年勤続の表彰などがあります。昨年度の事業としては、初めて図書館に勤務する職員を対象とした初任者研修、著作権法改正、図書の修理を学ぶ研修といった実務講習会をはじめ、石川県子ども読書月間啓発事業（「子ども読書の日」から1ヶ月間の4月23日～5月22日まで）、加賀地区・能登地区の情報交換会などを実施しました。

担当者会議後の館内見学



搬送される図書たち



ところでみなさまは、相互貸借というサービスをご存じでしょうか。最寄りの図書館で所蔵していない図書を他の図書館から取り寄せ、お近くの図書館で受け取れるというもので、本協議会が担う重要な事業の一つでもあります。県内図書館の蔵書を横断的に検索できる「石川県内図書館横断検索」(<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/wo/cross>)で本を検索し、お近くの図書館で取り寄せを申し込むと、県内図書館を結ぶ配送によって届けられます。「県立図書館や県内の他の市町立図書館の本も選べてうれしい」「近くで受け取れて助かった」など、利用した方々からは喜びの声が届いています。県外では、富山県、福井県、岐阜県、愛知県の図書館からも無料で取り寄せできますので、ぜひお近くの図書館へご相談ください。

近年のコロナ禍で対面の機会が減り、人と人とのつながりを維持することが困難な時代となりつつあります。一方で、非接触型の情報ネットワークは、ここ数年で大きく進化しました。これらの情報技術を活用し、研修や情報交換の機会を設け、図書館職員のスキルアップを行うことで、石川県公共図書館協議会は、県民のみなさまへの図書館サービス向上に努めて参ります。

## ◇ 令和4年度少年の主張石川県大会

8月27日（土）に石川県青少年総合研修センターで「少年の主張石川県大会」が開催されました。

この大会は、昭和54年の「国際児童年」を契機に開催してから今年で44回目となります。

日常生活の中での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を中学生に提供して、中学生世代における社会参加意識の醸成を図り、また、多くの大人に現代の中学生への理解を深めてもらう大会となっています。

加賀・能登・金沢および石川中央の4地区大会73名の参加者から選ばれた16名のみなさんが、自分の考えを力強く堂々と訴えかけました。審査の結果、最優秀賞には、中能登町立中能登中学校3年、中田聡音さんの「これから出会うであろう人たちへ」、優秀賞には、石川県立金沢錦丘中学校3年、加藤希さんの「天才」と七尾市立七尾中学校3年、久保心さんの「私の家族へ」が選ばれました。次頁に最優秀賞に選ばれた中田聡音さんの原稿を紹介させていただきます。



【正木 明 大会委員長】



【出場者と審査委員、大会役員の皆さん】



## 最優秀賞

「これから出会うであろう人たちへ」  
中能登町立中能登中学校3年  
中田 聡音 さん



小学三年生のときに、『二日月』という本に出会ったことで、私の考え方が大きく変わりました。

主人公の妹は、病気のため、痩せていて、とても小さいです。ある日、妹を見た、知らないおばさんは言います。「ご病気か何かですか？かわいそうにね」主人公は「かわいそうだなんて、言われたくない！」と心の中で叫びました

「かわいそうじゃない」こんな考え方があるのだと、私はそのとき、初めて知りました。

私は心臓に病気があります。生まれてすぐに大きな手術をし、そのあともずっと入退院を繰り返していました。

このことを周囲の大人が知ると、彼らは決まってこう言います。「かわいそうに」と。だからでしょうか。「自分は弱くて、何もできない人間なんだ」と思い込んでいました。周りからの悪意のある言葉にも、心配の言葉にさえも、怯えていました。

そんな中出会った、「かわいそうじゃない」という言葉。

「私は同情されるような存在じゃない。まして、見下される人間でもないんだ！」自分の中の暗い気持ちが、すっと小さくなりました。

このときを境に、私は人に恵まれていることに気づけるようになりました。

私には運動制限があり、マラソン大会に参加できません。「うらやましい」とよく言われますが、私はそれが嫌いです。

両親に話すと、「気にしなくていいんだよ」と抱きしめてくれました。両親の優しさは、いつも私を救ってくれます。

「自分は長く生きられないのだろうか」という恐怖を打ち明けたとき、ともにその恐怖と向き合ってくれました。「確かに、この先何があるかわからない。でも、何があったって、みんなが守ってくれるよ」と、私を勇気づけてくれました。

マラソン大会当日。応援することしかできず、気持ちが沈んでいくばかりの私が、救われた瞬間がありました。

「応援してくれた聡音さんに、拍手をしましょう」という担任の先生の言葉で、クラスのみんなが温かい拍手を送ってくれたのです。

今でも、思い出すたびに心が温かくなります。

「私の周りには、助けてくれる人、大切にしてくれる人がたくさんいる。これってすご

く幸せなことじゃないか！」

私を大切にしてくれる人たちに会ったおかげで、今こうして生きていられる。気づいた瞬間、今まで出会ってきた人たちへの感謝の気持ちが、心の中に溢れてきました。

同時に、「自分はこの人たちに、何か恩返しができないのだろうか」そんな気持ちも生まれてきました。

でも、恩返しって、何をしたらいいんだろう？子供の私にできることなんてあるの？

悩んでいたとき、主治医の先生が、教えてくれました。先生自身も耳の病気で手術を繰り返し、お世話になったお医者さんの恩に報いるために医者になったのだ、と。

はっとしました。支えてくれた人全てに、直接恩返しすることは難しい。それなら、これから出会うであろう人たちへ、恩を返せばいいのです。

私には、夢があります。医者になるという夢です。私を救ってくれた小児科の先生方のような医者に、私はなりたい。かつての私がそうであったように、辛い思いをしている子供たちの支えになりたいのです。

医者になるためには、人の何倍も勉強しなければなりません。そのための一歩として、希望の高校へ行けるように、今頑張っ勉強しています。

たくさんの人に大切にしてもらえた私が、今度は、これから出会うであろう誰かを大切にするために。



【成績発表（大久保審査委員長）】



【講評（宮坂審査委員）】

発表終了後、大久保邦彦審査委員長（石川県市町教育委員会連合会副会長）から、審査結果が発表され、正木明大会委員長から最優秀賞、優秀賞、奨励賞の賞状と副賞が授与されました。引き続き、宮坂巖審査委員（石川県教育委員会学校指導課担当課長）から講評をいただき、最後に大会副委員長（健民運動推進本部事務局長）の挨拶で閉会しました。



## 講評（要旨） 石川県教育委員会学校指導課担当課長 宮坂 巖

大変素晴らしい主張をしていただきました16名のみなさん、本当にお疲れ様でした。本日の発表では、人権問題、環境問題、身近な問題など様々な問題を自分の課題として捉え、向き合い、その解決方法を堂々と発表しているみなさんの姿に大変感心いたしました。また、私もそうですが、この会場にいらっしゃるみなさんにとって、自分の生活や行動を振り返るよい機会となったのではないのでしょうか。どの発表も甲乙つけがたく、大変難しい審査となりましたが、最優秀賞をとられました中田さんをはじめ、受賞されたみなさん本当におめでとうございます。中田さんは、11月からWEBにて行われる全国大会に出場されると聞いております。ぜひ、本県の代表として頑張ってください。

さて、みなさんが活躍する10年後20年後は変化の激しい予測困難な時代だと言われています。現在はAI、ドローン、再生医療、バーチャルサイエンスなどが世の中に普通に存在しますが、この技術は、10年前、20年前では考えられなかった技術です。みなさんが活躍する10年後、20年後にはもっとすごい技術が現実になっていると思います。もしかしたら、AIがこの壇上で挨拶をしているかもしれないし、みなさんの通った学校でAIを搭載したロボットが勉強を教えているかもしれません。でも、みなさんとここで確認したいのは、これらの技術を作ったのはわれわれ人間だということです。

われわれ人間は、社会をよりよくするために、一人一人がまず気になること、違和感のあること、実現したいことなどを問題として取り出し、解決すべき課題を明らかにし、その問題がどのようなプロセスをたどれば解決できるかを見通し、解決に向けて必要な条件を整え、粘り強く取り組み、最適解を導き出すことができます。

まさに、今日のみなさんがここまで取り組んで来た過程そのものです。

みなさんは、将来、必ずAIと共存することになります。単純労働では、24時間文句も言わずに働いてくれるAIにはかないません。でも、人にはAIにはない創造性、好奇心があります。ぜひ、みなさんには、今日の経験を忘れず、知識をそのまま鵜呑みにするのではなく、常にそれでいいのかと疑問をもち、考え、そして行動してほしいと思います。

結びに、このような子どもたちの成長の場を企画していただいた関係者の皆様、また本日まで色々ご指導いただいた先生方、いつもそばで支えてくれる保護者の皆様に深く敬意を示し、私の講評とさせていただきます。





## ★県大会に出場された皆さん

| 賞    | 中学校名        | 学年 | 氏名     | タイトル             |
|------|-------------|----|--------|------------------|
| 最優秀賞 | 中能登町立中能登中学校 | 3  | 中田 聡音  | これから出会うであろう人たちへ  |
| 優秀賞  | 石川県立金沢錦丘中学校 | 3  | 加藤 希   | 天才               |
|      | 七尾市立七尾中学校   | 3  | 久保 心   | 私の家族へ            |
| 奨励賞  | 白山市立北辰中学校   | 3  | 道上 真生子 | 一つ一つの出会い         |
|      | 白山市立光野中学校   | 3  | 松本 菜佑  | 「会話」の形           |
|      | 白山市立北星中学校   | 3  | 天満 愛菜  | 人とのつながりを大切に      |
|      | 北陸学院中学校     | 3  | 古屋 七花  | 「正しさ」について        |
|      | 内灘町立内灘中学校   | 3  | 板井 愛友美 | 生きやすく生きるために      |
|      | 金沢市立野田中学校   | 3  | 高岸 奏   | 「きょうだい児」が無くなる社会へ |
|      | 加賀市立東和中学校   | 3  | 木下 陽加里 | 主語をかえる           |
|      | 七尾市立能登香島中学校 | 3  | 清水 優生  | からっぽの「凄い」        |
|      | 金沢市立大徳中学校   | 3  | 林 莉愛   | 言葉に惑わされない私に      |
|      | 中能登町立中能登中学校 | 3  | 森正 璃音  | 本当の自分            |
|      | 加賀市立山中中学校   | 3  | 奥村 音葉  | 言葉の魔法使い          |
|      | 小松市立丸内中学校   | 3  | 庄田 葵   | 工夫一つで変わる地球の未来    |
|      | 能美市立根上中学校   | 3  | 重谷 昂伯  | 人生という資産を形成するために  |



# 11月は「子供・若者育成支援強調月間」です

～全ての子供・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指して～

政府では、子供・若者育成支援推進大綱（令和3年4月6日子ども・若者育成支援推進本部決定）において、毎年11月を「子供・若者育成支援推進強調月間」として設定し、大綱を踏まえた子供・若者育成支援に関する取組を国民運動として総合的に展開する契機としています。

## 「子供・若者育成支援推進大綱」における支援方針と施策

- 1 全ての子供・若者の健やかな育成  
全ての子供・若者が、かけがえのない幼年・若年期を健やかに過ごすことができ、かつ人生100年時代、絶え間ない変化の時代を幸せ（Well-being）に、自立して生き抜く基礎を形成できるよう、育成する。
- 2 困難を有する子供・若者やその家族の支援  
困難を有する子供・若者が、速やかに困難な状態から脱し、あるいは困難な状況を軽減・コントロールしつつ成長・活躍していけるよう、家族を含め、誰ひとり取り残さず、かつ非常時においても途切れることなく支援する。
- 3 創造的な未来を切り拓く子供・若者の応援  
子供・若者が、一人一人異なる長所を伸ばし、特技を磨き、才能を開花させ、世界や日本、地域社会の未来を切り拓いていけるよう、応援する。
- 4 子供・若者の成長のための社会環境の整備  
家庭、学校、地域等が、子供・若者の成長の場として、安心・安全な居場所として、Well-beingの観点からより良い環境となるよう、社会全体、地域全体で子供・若者を育てる機運を高め、ネットワークを整え、活動を促進する。
- 5 子供・若者の成長を支える担い手の養成・支援  
教育・心理・福祉等の専門人材から、地域の身近な大人、ひいては当事者たる子供・若者自身に至るまで、多様な担い手を養成・確保するとともに、それぞれの連携・協働の下、持続的な活躍が可能となるよう、支援する。

※各施策の具体的内容については、「子供・若者育成支援推進大綱（令和3年4月6日子ども・若者育成支援推進本部決定）」を参照願います。

## ◇ 健民運動活動紹介

第9回 ハトマーク杯争奪ゲートボール大会

（兼）第78回国民体育大会北信越大会石川県予選会



9月11日（日）、中能登町ふれあいセンター（旧鳥屋室内ゲートボール場）にて、12チームが参加して盛大に開催され熱戦が繰り広げられました。

参加チーム（男子チーム）

①輪島 ②能登 ③住吉 ④能美根上 ⑤羽咋C ⑥中能登 ⑦志水かがやけ

優勝：中能登（中能登町） 準優勝：志水かがやけ（宝達志水町）

参加チーム（女子チーム）

①輪島美女チーム ②根上フラワ ③志賀フレンド ④ノトきりしま ⑤七尾

優勝：ノトきりしま（能登町） 準優勝：七尾（七尾市）



# ◇第49回太陽と緑に親しむ健民祭

## ○健民祭総合開会式

9月23日（金・祝）9時から西部緑地公園陸上競技場を会場に馳浩本部長出席のもと、350名が参加して3年ぶりに総合開会式を開催しました。

開会式では、関戸正彦健民祭実行委員長の開会宣言、馳浩本部長の挨拶、オーロラビジョンによる各団体の紹介、央戸さんによる家族三世代で体力づくり宣言、石川県レクリエーション協会の松下裕子さんのご指導による健民さわやか体操、石川県立鶴来高等学校和太鼓部によるアトラクションと予定どおりに開催されました。



関戸委員長開会宣言



馳本部長挨拶



参加者のみなさん



健民さわやか体操



家族三世代で体力づくり宣言



鶴来高等学校和太鼓部



準備運動をする参加者のみなさん



馳知事との記念撮影

## ○健民ゲートボール大会（主管 石川県ゲートボール協会）

総合開会式後、10時20分から陸上競技場の特設コートで競技が行われました。

### 競技結果

|       |    |          |    |      |
|-------|----|----------|----|------|
| 第1コート | 優勝 | 白山松鶴     | 2位 | 日和が丘 |
| 第2コート | 優勝 | 金沢クラブ    | 2位 | 住吉   |
| 第3コート | 優勝 | 中能登      | 2位 | 手取   |
| 第4コート | 優勝 | チーム・ドラゴン | 2位 | 能登   |



開会式



競技中の様子

## ○健民ペタンク大会（主管 石川県ペタンク・ブール協会）

総合開会式後、10時20分から西部緑地公園投てき場で競技が行われました。18チーム65名のみなさんが参加されました。

優勝 金沢ペタンクA                      2位 志賀町C                      3位 津幡町A , 志賀町B



競技中の様子





## ○石川県スポーツ少年団サッカー交流大会（主管 石川県スポーツ少年団）

8月27日（土）、28（日）、9月4日（日）内灘町サッカー競技場・他を会場に16チームが参加して開催されました。9月4日（日）には決勝戦、三位決定戦が行われました。

### 【大会結果】

- 優勝 河北台サッカークラブ
- 準優勝 符津スポーツ少年団サッカー部
- 第三位 松任中央サッカースポーツ少年団



## ○マラソンに挑戦する会2022（主管 石川県走ろう会連絡協議会）

9月19日（月・祝）西部緑地公園陸上競技場を会場に231名が参加し、10km・20km・30kmの3種目で開催されました。



受付



マラソンに挑戦する会横断幕



開会式前の和太鼓演奏



開会式



スタート直前



第4ゲートから競技場外へ



## ○わんぱく広場（主管 （一財）石川県レクリエーション協会）

9月25日（日）いしかわ子ども交流センターおよびセンター前の緑地広場を会場に161名の参加者がさまざまなプログラムを体験し、好評のうちに終了しました。



受付



モンキーブリッジ



カローリング



マンカラ



射的



輪投げ



エレベーター



ディスクゲッター



ひろばの様子



## ○リズムダンス講習会（主管 石川県リズムダンス協会）

9月30日（金）加賀市スポーツセンターを会場に165名が参加されました。



## ○健民野球大会（主管 石川県早朝野球協議会・金沢日曜野球連盟）

10月2日（日）石川県立野球場で開催されました。

○県早朝野球 決勝 C-MAX（羽咋市） 8-0 高桑美術印刷（野々市市）

【C-MAXは大会初の4連覇・大会最多となる6度目の優勝】

決勝戦の後、閉会式が行われ、以下の選手が表彰されました。

最優秀選手賞 安藤 匠海（C-MAX）

優秀選手賞 西出清太郎（高桑美術印刷）

○金沢日曜野球 準決勝

ピースアライアンス 2-0 ドルフィンズ

やきとり鳥珍や 3-2 No FACE





## ○健民マレットゴルフ大会（主管 石川県マレットゴルフ協会）

10月2日（日）専光寺ふれあいの森ふれあいゴルフ広場で88名が参加して開催されました。



## ○健民歩こう大会【健民祭ウォーク】（主管 石川県歩こう会連絡協議会）

10月2日（日）東山河岸緑地（金沢市）を会場に石川県歩こう会連絡協議会のメンバーを中心に60名が参加して開催されました。





## ○おはようサイクリング石川健民大会

(主管 おはようサイクリング石川県協議会)

10月9日(日)大豆田大橋上流広場を集合場所に92名が参加して往復約28キロのコースを走りました。



## ○健康クラブ交歓大会 (主管 石川県健康クラブ協議会)

10月11日(火)いしかわ総合スポーツセンターを会場に931名が参加して開催されました。来賓として馳浩本部長が参加し励ましの言葉をいただきました。



## ◇ 11月・12月の健民運動カレンダー

R4.10.14 現在

|          |  |
|----------|--|
| 11/17(木) | 令和4年度青少年ボランティア賞表彰式<br>会場：県庁行政庁舎 特別会議室(金沢市)<br>主催：石川県健民運動推進本部 |
|----------|--|



## 子どもたちの成長を願って

石川県スポーツ少年団では、子どもたちの心身ともに健全な成長を願っていろいろな取り組みを行っています。主な事業は次のとおりです。

○石川県スポーツ少年団総合開会式・・・3年連続中止

○石川県少年大会（1泊2日）、ジュニアリーダースクール（2泊3日）

子どもたちが宿泊をしながら、様々な活動・研修を行う・・・2年連続中止

○競技別交流大会の開催

4月から12月にかけて、軟式野球・サッカー・相撲・バレーボール・卓球・柔道・少林寺拳法・バドミントン・剣道の9競技を開催・・・野球・サッカーは2年連続中止。他にも1年中止や規模縮小など苦しい2年間でした。

野球・剣道・バレーボールは全国交流大会につながる競技ですが、北信越大会や全国大会も中止が相次ぎました。

○日独同時交流

日本全国から高校生100名ほどがドイツに行き、ホームステイで3週間ほど交流。ドイツからは高校生年代120名ほどが日本に来て、18日間日本に滞在。石川県にも12名が4泊5日で交流活動。・・・3年連続中止

○指導者研修

スタートコーチ養成講習会や指導者講習会（北信越や全国にも参加）

将来を担う子どもたちを成長させるために、指導者の資質も向上しなければなりません。この2年間、残念ながら予定した事業が満足にできませんでした。令和4年度は、3年ぶりに軟式野球交流大会、サッカー交流大会を開催することができました。このまま他の事業も予定どおり開催できることを願っています。



# 『あいむ』だより



## 収集物（7・8月分）＜使用済み切手など＞

石川県（総務課、行政情報サービスセンター、長寿社会課、医療対策課、少子化対策監室、資源循環推進課、建築住宅課、計量検定所、農林業公社、生涯学習課、文化財課、監査委員事務局）、匿名の方 計 13件 ご協力ありがとうございました！



ご提供いただきました使用済み切手、書き損じハガキにつきましては、切手収集家等に換金してもらい、海外への医療従事者派遣や視覚障害をもつ学生の育英事業などに役立てていただいております。ぜひお寄せください。

## メールマガジン『あいむ通信』を読んでもみませんか？

あいむでは、定期的にメールマガジン『あいむ通信』を配信しています。内容は、イベントやボランティアの募集情報、助成金、顕彰の情報など、皆さんの活動に役立つ情報です！ 配信を希望される方は、団体名または氏名、『あいむ通信』配信希望の旨を記載のうえ、[magazine@ishikawa-npo.jp](mailto:magazine@ishikawa-npo.jp) までメールを送信ください！



これまでに配信したメールマガジンも見ることができます！

<https://www.ishikawa-npo.jp/oshirase/magazine.html>



## これ DO? (企業×NPO 物品マッチングシステム)

NPO・ボランティア団体が求める備品について企業の皆さんから提供を受け、石川県 NPO 活動支援センター（あいむ）がその仲介を行うことにより、NPO の公益活動と企業の皆さんの社会貢献活動を支援します。

詳しくはこちら → <https://www.ishikawa-npo.jp/koredo/>

## 石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊 2 丁目 4 番 30 号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559

<https://www.ishikawa-npo.jp> , E-mail:[npo@ishikawa-npo.jp](mailto:npo@ishikawa-npo.jp)

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料無料）

・お問合せ、ご予約はお電話等にてお気軽にどうぞ。

《9:00～22:00（土、日は17時まで、月曜日・祝日・年末年始は休館）

・香林坊地下駐車場をご利用の場合は駐車料金の一部を助成しています。





毎月第3日曜日は「家庭の日」です  
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～



毎月7日は「健康の日」です。  
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



## 発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
石川県県民交流課内 健民運動推進本部

TEL 076-225-1366  
FAX 076-225-1363

ホームページ

健民運動

検索

E-mail

kenmin-t@pref.ishikawa.lg.jp



QRコード